

主な内容

- 一般質問議員と質問項目……………1
- 一般質問から……………2・3
- 主な質疑……………3
- 12月定例会 議案等審議結果一覧……4



那須烏山市 Nasukarasuyama City

議会だより

発行

那須烏山市議会

編集

議会広報委員会

事務局

☎0287-88-7114

- 1 台風19号災害対策についての総括
- 2 県と25市町が取り組む「プラごみゼロ」宣言の取組みについて
- 3 子育て支援対策について
- 4 高齢者の生活交通手段の確保について



村上 進一 議員

- 1 災害弱者避難と防災対策について
- 2 もうひとつの成人式について
- 3 有害鳥獣の現況と捕獲手法について
- 4 那須烏山マラソン大会の活性化について



青木 敏久 議員

一般質問議員と質問項目(質問順)

※赤字の項目は、本紙2〜3ページに質問と答弁の内容を掲載していますので、そちらもご覧ください。



議会基本条例制定後、初めて開催する議会報告会(令和元年10月27日)

12月定例会が11月29日(金)に招集され、12月9日(月)までの11日間の会期で行われました。提出された議案等の審議の結果は4ページに掲載しています。 ※議決された議案の内容など、詳しくは「広報なすからすやま第172号」をご覧ください。 会議録は市立図書館と市ホームページで閲覧できます。

- 1 市及び関係機関の被害状況について
- 2 人口減少対策について
- 3 保育園の水害対策について
- 4 通学路の整備について
- 5 マイナス入札について



渋井 由放 議員

- 1 台風19号に対する対応と今後の復旧および対策について
- 2 那須烏山市立地適正化計画(素案)抜粋について
- 3 本市の各産業の現状と今後の展望について



久保居 光一郎 議員

- 1 災害復興について
- 2 市職員のスキルアップについて
- 3 近頃の教育現場について



福田 長弘 議員

- 1 台風19号による市の備えについて
- 2 上下水道施設の被災状況と今後の対策について
- 3 ハザードマップの周知方策と見直しについて
- 4 国県への実効性ある要望活動について
- 5 専決処分のあり方について



中山 五男 議員

- 1 台風19号被害の教訓と今後の対応について
- 2 「子どもたちの達成感及び意欲を最大限に引き出す教育」について



小堀 道和 議員

- 1 台風19号災害に対する災害救助法及び被災者生活再建支援法について
- 2 台風19号災害対応について
- 3 市内における賑わい創出に向けた取り組みについて



相馬 正典 議員

- 1 防災と災害情報伝達手段について
- 2 台風19号による被災からの復旧等について
- 3 「パートナーシップ宣誓制度」について



荒井 浩二 議員

- 1 台風19号による被災と復旧対策について
- 2 市内の安全対策について
- 3 高齢者に優しいまちづくりについて
- 4 本市学校教育について



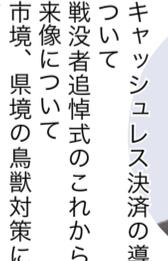
平塚 英教 議員

- 1 災害対策について
- 2 食品ロス対策について



矢板 清枝 議員

- 1 キャッシュレス決済の導入について
- 2 戦没者追悼式のこれからの将来像について
- 3 市境、県境の鳥獣対策について
- 4 豚コレラ対策について
- 5 台風19号における小中学校の対応について
- 6 ポケモンGO観光連携プロジェクトについて
- 7 未来を担う高校生との意見交換会について



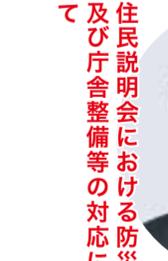
滝口 貴史 議員

- 1 台風19号について
- 2 災害廃棄物処理計画について
- 3 下水道事業及び集落排水事業の公営企業会計の適用について
- 4 男女共同参画社会について



興野 一美 議員

- 1 住民説明会における防災情報及び庁舎整備等の対応について



堀江 清一 議員

- 23日 議会運営委員会
- 20日 経済建設常任委員会
- 15日 議会広報委員会
- 8日 議会広報委員会
- 5日 議会広報委員会
- 9日 議員懇談会

- 12月
- 2日 各常任委員会
- 5日 議会広報委員会
- 9日 議員懇談会

- 令和2年1月
- 8日 議会広報委員会
- 15日 議会広報委員会
- 20日 経済建設常任委員会
- 23日 議会運営委員会
- 議員全員協議会
- 第1回1月臨時会

- 29日 議員全員協議会
- 22日 議会運営委員会
- 20日 議会報告会運営チーム
- 7日 経済建設常任委員会
- 27日 議会報告会

- 令和元年10月
- 26日 議会だより第54号発行
- 27日 議会報告会

- 11月
- 7日 経済建設常任委員会
- 20日 議会報告会運営チーム
- 22日 議会運営委員会
- 29日 議員全員協議会
- 第4回12月定例会(12月9日まで)
- 庁舎整備検討特別委員会

議会の動き

- 1 市庁舎整備について
- 2 農林業の振興について
- 3 防災減災の取り組みについて
- 4 公共交通について



高田 悦男 議員

令和元年12月定例会 一般質問から

※質問・答弁の内容は要約してあります。

村上進一議員

台風19号災害対策についての総括

(問) 避難所の見直し及び断水の広報活動について、市長の見解を伺う。

(答) 避難所の見直しについては、場所また建物を今後は、考えていかないとけない箇所がある。野上の南公民館は2階なので、エレベーターか何かをつけないといけない。費用がかかる。と皆様から批判をいただくと思うが、避難所の開設等になれば必要なのか、検討させていただきたい。断水に関しての広報については、反省点としてたくさんある。防音になっていく建物の中では、広報車両の放送は聞こえないのが現実だと思う。災害の時に自分で自主的に情報を得るという手段を、もう少し一人一人にわかってもらえよう、違う意味での広報をしていきたい。各課ごとに今回の対応での反省点、改善点について検討するようにしている。

青木敏久議員

災害弱者避難と防災対策について

(問) 災害弱者避難「個別計画」の作成状況について伺う。

(答) 高齢化により地域によっては支援担当者を見つけることが困難等の理由から、進んでいないのが現状である。災害時には、地域の支え合い、避難行動要支援者の命を守ることがとても重要である。今後は関係機関と連携を図り「個別計画」の作成に取り組む。

もうひとつの成人式について

(問) 南那須特別支援学校卒業生の「成人を祝う会」における2市2町の連携と支援について伺う。

(答) 市の広報に、烏山高の鳥山学等の紹介が載っている。次年度からは、そのうちの何回かを南那須特別支援学校の特集に変える予定である。そういった中で協力関係を持ちながら、祝う会についても、今後何かのお手伝いができるか考えてまいりたい。

中山五男議員

上下水道施設の被災状況と、今後の対策について

(問) 台風19号による水道施設の水没は最も深刻であった。機能停止したことから約4千戸が断水し全戸復旧までに9日間要した。さらに、野上地内下水道水処理センターも浸水したが、わずかのところで難を

逃れた。下水道施設の運転停止は生活用水すべてが流せないことから、その影響は飲料水の断水をはるかに超える。上下水道施設位置をハザードマップで見るとすべて浸水想定区域内にある。

今回、水道施設の水没を防げなかった理由は何か。また、次の洪水対策の備えを伺いたい。

(答) 水没を防げなかった理由は、短時間に水位が急上昇した等により、浸水対策の遅れが要因だと考えられる。これまでに議員から施設の不安を指摘されながら、その対策が遅れていた。今後は施設の復旧改善等の検討を行ってまいりたい。

福田長弘議員

災害復興について

(問) 今後に対する災害復興の具体的な取り組みを伺う。

(答) 現在のところ住まいに関しては、住宅の応急修理や応急仮設住宅賃貸型の提供、民間賃貸住宅の情報提供を行い、被災者生活再建支援金等の支給手続きや各種使用料等の減免申請の受け付けを行っている。

災害ごみの処分は、年内に旧境小学校、南那須運動場、年度内に大桶運動公園及び緑地運動公園の撤去処分を考えている。実際に搬出作業を行った結果、保健衛生センター等で受け入れ処分ができない状況がある。県の廃棄物対策課の処理方針が11月21日に出さ



大桶運動公園に集積された災害ごみ

れ、発生日から1年以内の撤去を目標とする指針が示されたので、最終的にはそこに目標を設定せざるを得ない場面があるかと思う。ただ、年度内撤去を目指し現在頑張っている。

久保居光一郎議員

那須烏山市立地適正化計画(素案)抜粋について

(問) 那須烏山市立地適正化計画策定の背景と目的の中に、「本計画は那須烏山市総合計画に即し、関連する計画との連携のもと、那須烏山市都市計画マスタープランの具現化を目指す計画」と記され、その計画期間は令和2～11年となっているが、果たしてその計画期間内に具現化は可能なのか市長の見解を伺う。

(答) 立地適正化計画は本市におけるコンパクトシティをどのように進めていくかの基本方針や方策等を示すものである。また立地適正化計画が目指す方向性は、烏山市街地と南那須市街地に必要な公共施設や都市機能施設の維持・誘導を図るとともに、市街地と郊

外の集落とを道路網や公共交通機関で結ぶことで、利便性の高い市街地を誰もが利用できる、財政的・経済的に持続可能なまちづくりを進めて行くものである。

渋井由放議員

保育園の水害対策について

(問) ここに保育園は浸水想定区域にある。今回は被害を逃れたが、子供たちの安全を確保するため早急な対応が必要と考えるがいかがか。

(答) ハザードマップのシミュレーションによると、5メートルを超える浸水が想定される区域となっている。つくし幼稚園との統合を早く進められるよう計画をしたい。

認定こども園となる給食室を建てる場所が必

要だと考える。学校給食センターの利用はできないか。

(答) 3歳から5歳児は外部搬入することが出来る。給食センターには余力があることを確認している。

(問) 0歳から2歳児の給食室が必要である。つくし幼稚園には職員やバスの駐車場がある。ここに給食室を建設することを検討してはいかがか。

(答) 国の規制等があるが、前向きに努力していく。

平塚英教議員

台風19号による被災と復旧対策について

(問) 本市農地・農業用施設の災害は、26億6千万円と県内最大である。災害復

旧に国・県の対策と併せ、全力で取り組む。したい。

(答) 農地・農業用施設の復旧は、被災エリアごとの現場確認が終了し、国の災害査定に向けた査定設計書の作成に着手している。今後、国の査定を受け、年明けに復旧計画に向けた地元説明会を開催、合意形成を図った上で早急に復旧工事に着手したい。被災農家への支援策は、いずれも営農再開に向けたものであり、施設や機械の取得、修繕のほか、ハウスの撤去や稲わらの除去費用、出荷不能となった米の補償など、県単補助9事業・国庫補助16事業を予定している。県単補助事業は、既に交付申請まで着手、国庫補助事業は12月に要望調査の予定で、どちらも年度内交付を目指している。

荒井浩二議員

防災と災害情報伝達手段について

(問) 避難・給水所の情報をゲージルマップに登録して公開する対策はいかがか。

(答) ウェブサービスの活用は有効であり、検討する。災害の記録を活かして、緊急時に要点を再確認出来るチェックリストの作成をしてはいかがか。

被害等の記録は残す。チェックリストは活用しやすいので、作成したい。

台風19号による被災からの復旧等について

(問) 大桶運動公園でのそば祭りの開催について伺う。

(答) 来年度は見送り、令和3年度の実施で計画する。

(問) 掘抜から野上舟戸に至る築堤整備について伺う。

(答) 那珂川水系河川整備計画に浸水防止対策の記載はある。実施時期は未定だが、要望活動を続けていく。

相馬正典議員

台風19号災害対応について

(問) 国は、中小企業の復興支援としてグループ補助金の支出を決定した。今後、本市において、この補助金の対象となる企業はあるのか伺う。また、小規模事業者持続化補助金もあり、各種支援策について市の対応を伺う。

(答) 被害を受けた事業者の多くが対象になるもの想定している。今後、各種支援策については、窓口となる那須烏山商工会と連携を密にして、市内の補助申請を希望する事業者に対する支援をしていく。



浸水被害を受けた市道

市内における賑わい創出に向けた取り組みについて

(問) 今後、年間を通じた観光客の誘客に繋がるような施策に力を入れる必要があると思うが、考えを伺う。

(答) 従来までのイベント中心であった観光施策を見直し、年間を通じて訪れてもらえるような着地型観光への転換を図る必要がある。

小堀道和議員

台風19号被害の教訓と今後の対応について

(問) 甚大な台風被害に対し今後の対応の中で「逃げる文化の醸成」「被災者に対する心のケア」「復元工事でなく改善復興工事にするべき」について見解を伺う。

(答) 「逃げる文化の醸成」については、今回を教訓に、早期の避難所の設置と避難の呼びかけを明らいうちにすべきと考えている。自主防災組織の活性化に努め、警報を待たず自衛的に自治会単位の対応を呼びかけた。より一層情報を伝え、逃げる大切さを伝えていく。

「被災者の心のケア」については、県の保健師の協力を得ながら家庭訪問を実施し、心身のケアを継続して行っていく。

「復元工事から改善復興工事」については、視察に訪れた厚生労働大臣にも厚生労働省にも復旧工事だけでなく全部改良を前提に話をした。県も国に要望している。今回変えられると思われるので協力願いたい。

堀江清一議員

住民説明会における防災情報及び庁舎整備等の対応について

(問) 10月から、防災in f0なすからすやまが始めたが、住民説明会を受けアプリの登録者はどれくらいいるのか伺う。

(答) 台風19号以前の登録は200件程度で、現在は800件を超えている。



住民説明会の様子

興野一美議員

台風19号について

(問) 被災した農地、農業用施設の復旧工事が来年の作づけに間に合うのか伺う。

(答) 今後のスケジュールは、1月に地域説明会を行い、実施設計書を発注するが、県、市外の業者を含めてアンケートをとった結果、大半が那須烏山市の要望には応えられない。との返答だった。ただ、何件かの業者には、大丈夫と力強い言葉をいただいた。

(問) 那須烏山市版家族協定の推進をまずは市職員から進めてはどうか。

(答) 家庭内における家事等は女性が担当していることが多いが、夫婦の役割分担についても男女間で感じ方が大きく異なっている。そのような格差を解消するためにも、まずは市職員自ら日ごろよりお互いの気持ちや家族間の目標を決め、家族間において十分な対話を行い、ともに家事、育児等に参画できるよう意識づくりの醸成に努める。

滝口貴史議員

台風19号における小中学校の対応について

(問) 小中学校における台風を初めとする危機管理について伺う。

(答) 危機管理においては、普段より、大雪や路面凍結などが予想される際、最新の気象情報などを元に、教育委員会と市小中学校長会

で協議し、登下校の時間の調整や休校等を判断、決定している。今後も、台風19号の経験を生かし、学校防災マニュアルを再検討するとともに防災教育の充実を図り、児童・生徒の安全確保に努めていきたい。

(問) 市内から他市町へ通学している高校生と、意見交換する機会を設けていた方がいいか伺う。

(答) 通学する学校を限定せず、より多くの若者の意見を聴取する機会を設けることは、今後の市政運営にとって重要である。実施できるとして検討していきたい。

矢板清枝議員

災害対策について

(問) 大規模災害における被災情報の連絡網の構築について伺う。

(答) 大規模災害時においては、同時多発的に災害が発生するため、市や消防、警察だけでは把握できない被害情報が発生した。地元を見回った自治会からの連絡で、被害情報の把握ができた。連絡網の構築は必要であると考えている。今後

も行政区長会議等で、これらの必要性を説明し連絡網の構築を進めていきたい。

(問) 食品ロスの削減について伺う。

(答) ホームページや広報お知らせ版を使って「とちぎ食べきり15(いちご)運動」の紹介や、食品ロスは当然のことである。



高田悦男議員

防災減災の取り組みについて

(問) 台風19号による水害は想像を絶する被害であった。その対策は河川堤防のかさ上げより河床の浚渫を優先すべきである。

さくら市の市長が、那須烏山市等、流域市町とともに荒川圏域河川整備計画を具体的に見直し、早急に行うことを強く要望していくと発言されているが本市としてどのような連携が可能か伺う。県はこの程、塩原ダムを含めた7つのダムの浸水想定図を年度内に作成し、より早い段階で放流情報を提供するという考えを明らかにしたようである。

(答) 荒川は県にも要望しており、本市単独でも、県と一緒に国に要望している。荒川圏域河川整備計画には、さくら市だけではなく各市町が入っている。連携してやっていくのは当然のことである。

主な質疑

専決処分の承認を求めることについて(令和元年度那須烏山市一般会計補正予算) 議員 農地・農業用施設、公共土木、社会教育施設 災害復旧費等はどうだろうか伺う。

答弁 農地・農業用施設の災害査定業務委託料は、災害査定時に必要な査定設計書作成の経費として4千万円である。公共土木災害復旧事業費は道路等の補修、土砂及び倒木処理や、査定設計書作成の経費として6300万円。社会教育施設災害復旧事業費は南那須公民館、大桶運動公園の修繕等の経費として162万3千円である。

議員 証明書のコンビニ交付も実施せずにただ単に値上げをするのは、いかがなものか。経費がかかることをやらないのであれば、証明手数料は200円でもいいと思うが考えを伺う。

答弁 今回の改正については、手数料自体の単価が適正なものかという部分に立ち返り、人件費や物件費等の単価計算を行った上での改正である。

議員 烏山高校生に対して通学補助をやめた上、高校生が利用するバス料金を値上げするのはいかがなものか。

答弁 他のバスで那珂川町に向かう路線は初乗り料金230円、茨城交通の初乗り200円に対し、本市の自家用有償バス(市営バス)は150円。また関東バスも10円から20円の値上げをしている。



被災箇所を視察する議員

那須烏山市一般職の任期付職員採用及び給与の特例に関する条例の制定について

議員 特定任期付職員の採用の必要性と選考方法について伺う。

12月定例会での議員質疑の中から、主なものを要約して掲載しています。採用する場合を想定している。選考については口述試験、筆記試験、面接、経歴等評価や論文試験など様々あり、求めている人物に当てはまるか判断する。

(全会一致)

12月定例会 議案等審議結果一覧

議案等		審議結果	議案等		審議結果
議案第7号	専決処分の承認を求めることについて(令和元年度那須烏山市一般会計補正予算(第3号)について)	承認	議案第5号	令和元年度那須烏山市下水道事業特別会計補正予算(第2号)について	可決
議案第8号	専決処分の承認を求めることについて(令和元年度那須烏山市水道事業会計補正予算(第2号)について)	承認	議案第6号	令和元年度那須烏山市水道事業会計補正予算(第3号)について	可決
議案第13号	那須烏山市長、副市長及び教育長の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	可決	議案第18号	栃木県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び栃木県市町村総合事務組合規約の変更について	可決
議案第14号	那須烏山市職員給与条例等の一部改正について	可決	議案第19号	損害賠償の額の決定及び和解について	可決
議案第2号	令和元年度那須烏山市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	可決	議案第9号	那須烏山市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の制定について	可決
議案第3号	令和元年度那須烏山市介護保険特別会計補正予算(第2号)について	可決	議案第10号	那須烏山市臨時的任用職員給与条例の制定について	可決
議案第4号	令和元年度那須烏山市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)について	可決	議案第12号	那須烏山市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例等の一部改正について	可決

(起立による採決等)

○…賛成 ●…反対 退…退席 欠…欠席

議案等	審議結果	議員別賛否一覧																
		青木敏久	興野一美	堀江清一	荒井浩二	福田長弘	村上進一	矢板清枝	滝口貴史	小堀道和	相馬正典	田島信二	渋谷由放	久保光一郎	沼田邦彦	中山五男	高田悦男	平塚英教
議案第11号	那須烏山市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●
議案第15号	那須烏山市手数料等の適正化に伴う関係条例の整備について	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	那須烏山市自家用有償バス設置、管理及び使用料条例の一部改正について	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	那須烏山市B & G海洋センター設置、管理及び使用料条例の一部改正について	認定困難	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		可決	賛成：9 反対：7 (無記名投票)															
議案第1号	令和元年度那須烏山市一般会計補正予算(第4号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 掲載は採決順で沼田議長は表決に加わらない。 ※ 議案第9、10、12号は、上程・質疑の後、関連する常任委員会に付託され、最終日に採決。
 ※ 議案第17号については起立採決での結果、認定困難であるため無記名投票により可決された。



議会報告会の様子

議会報告会
 市議会では10月27日、市民の立場に立ち、信頼される開かれた議会づくりのため、市議会基本条例が施行され初めての議会報告会を烏山公民館で開催しました。台風19号の被災直後のため、開催すべきか検討した結果、このような状況であるからこそ実施すべきと判断しました。
 市民など16人が参加し、第1部は議会常任委員会の活動報告、第2部は参加者と議員のフリートークによる意見交換会を行いました。参加者から常任委員会行政視察に関する意見や庁舎整備に関する議会の対応、台風19号による災害対応や今後の復旧についての質問、さらに議会報告会開催についての要望等が寄せられ、それに対し議員は自身の意見を述べました。
 今後も、市民に情報を届け、市民の意見を聞く場として議会報告会の開催を予定していますので、ぜひご参加ください。

議場コンサートを開催します

日時：2月27日(木) 午前9時30分から
 (定例会 本会議開会前)
 場所：市役所南那須庁舎3階 議場
 内容：烏山高等学校吹奏楽部によるフルート三重奏、金管四重奏
 曲目：思い出は銀の笛(2番真紅のルビー、5番ブルーパステル)、FIVE BAGATELLES(1番マーチ、2番メヌエット、3番フモレスク)
 入場無料、事前申込不要です。皆様のご来場をお待ちしています。



12月定例会の本会議日程と傍聴者数

月日	内容	傍聴者数
11月29日(金)	開会・上程・採決・付託	2人
12月2日(月)	一般質問	11人
12月3日(火)	一般質問	7人
12月4日(水)	一般質問	13人
12月5日(木)	一般質問	14人
12月9日(月)	報告・採決・閉会	0人
計		47人

3月定例会は2月25日(火)開会予定です

正式な日程は2月18日(火)に開催される議会運営委員会で決定されます。

議会を傍聴してみませんか

議会を傍聴することは、市政を知っていただく最も良い方法です。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。(☎0287-88-7114)

あしがき

はじめに、昨年10月12日に本市を襲った台風19号により被災された方々にお見舞いを申し上げますとともに、復旧に向けてご尽力いただいております市内外の関係者の方々に深謝いたします。また、このような中で令和2年を迎えるにあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

現在市内では、甚大な被害をもたらした災害からの復興を目指した活動が行政を中心に進められています。そこで、社会福祉協議会や民間、NPO法人からなる「なすから暮らし復興支援センター」によるボランティア活動もはじまり、行政の手が届かないところへ活躍しているところがあります。片や、議会議員の役割とは市井の声を市政へと届け、繋げる架け橋であらねばなりません。

昨年は、市主催の住民説明会と当議会による議会報告会が行われました。市民に伝えるカタチで行政や議会の情報を伝え、架け橋として、一方通行ではなく、双方向性を意識することで、より一層議会への関心と信頼を得るべく「寝ず身」の努力で、本市の繁栄に貢献したいと願う子年でありたい。

(荒井浩二議員)

